

「函館創生☆活性化」【探究課題：函館の地域創生や活性化に関わる人々と取組】(28時間扱い)

授業者 鎌田 尚 吾

1 教材の特徴

学習内容の背景

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び方策等について(答申)(2015)
小学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編(2017)

本単元の目的

函館市人口ビジョン(2020改訂)
函館市基本構想(2017~2016)
株式会社ブランド総合研究所「市区町村魅力度ランキング」地域ブランド調査

今の子供たちやこれから誕生する子供たちが、成人して社会で活躍する頃には、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっていると言われてしています。そのような時代においては、「個性や能力を生かして学びを深め将来の活躍につなげる」ことが大切です。今の時代を生きる子供たちには「自らの能力を引き出し、学習したことを活用して、生活や社会の中で出会う課題の解決に主体的に生かしていく」ことが求められているのです。

小学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編では、全ての地域社会には、その地域ならではのよさがあり特色があるとした上で、「これらの特色に応じた課題は、よりよい郷土の創造に関わって生じる地域ならではの課題」であり、「児童が地域における自己との関わりで考え、よりよい解決に向けて地域社会で行動していくことが望まれている。」としています。

中教審答申で、次代の社会を形成することに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の一つとして示している「地域創生」等に生かす力の育成が本単元の目的です。地域創生と同義の言葉として、地域活性化もあります。

函館市は、1980(昭和55)年の345,165人をピークに、2015(平成27)年では265,979人と人口減少が著しい現状です。現在、「北のクロスロード HAKODATE ともに始める 未来を拓く」という将来像を定め、プロジェクトの1つに「魅力向上」があります。

これまで子供たちは、魅力度ランキング上位である函館の魅力を探り、観光客に向けてPRする学習(第4~5学年)を通して、「函館は魅力がたっぷり！いいまち！」という概念(図1)を形成しています。

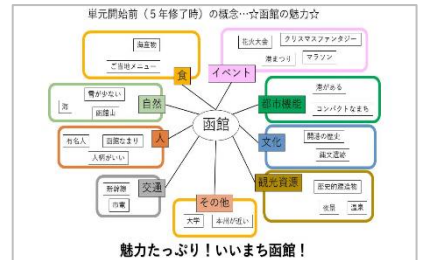


図1 単元導入前の子供の函館像

中心となる概念 「函館創生☆活性化」 「魅力向上に向けた取組」

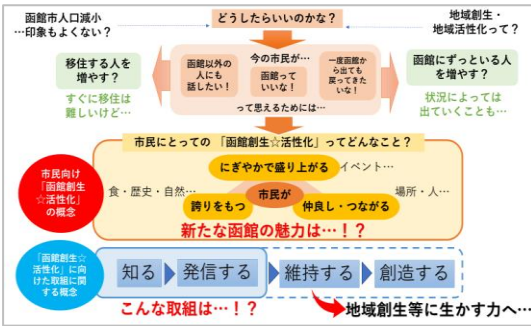


図2 本単元の単元構想・概念図

がら、単元を通して、「魅力を維持する>創造する」ことが「函館創生☆活性化」につながることを理解するきっかけとします。

個人課題を設定するためのLAMDAサイクル

村上悟(2020)「不確実な時代に勝ち残る。ものづくりの強化書」クロスメディア・パブリッシング

本単元で扱う「地域創生☆活性化」については、必ずしもこれが正解というものがなく、また変動していくものです。経営コンサルタントである村上(2020)は、VUCA(変動性・不確実性・複雑さ・あいまいさ)に対応するためにPDCAを分割したLAMDAサイクルを提唱しています。本単元では、このようなサイクルを基にした課題設定場面を構想しました。複数のゲストティーチャー(以下GT)を活用して思いや願いをもち、視点をつくったり、取り組む方向を見直したりしながら、子供が自らの課題を設定できるようにします。



図3 GTを活用したLAMDAサイクル(赤字・下線は筆者加筆)

なお、コロナ禍により、バス移動や現地での体験・聞き取り調査等が難しいため、感染予防対策を万全にした上でのGTの来校を実施します。

本単元で鍛える 見方・考え方

○ 「函館創生☆活性化」を目指す人々の思いを分析し、市民が「誇りをもつ」「にぎやかで盛り上がる」「仲良くつながる」といった構成の視点を見だし、「函館創生☆活性化」という観点から、魅力や取組を再確認・再発見する。

1 まち・ひと・しごと創生法(2014 施行)第1条には、「我が国における急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくためには、国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業の機会を創出を一体的に推進することが重要になっている」とある。
また、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(令和元年改訂版)及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、それぞれの地域において、新たな取組を創り出しながら、活力ある地域社会を実現し、人口減少を和らげたり、人口減少に適應した地域をつくらせることが求められている。

2 目指す子供の姿

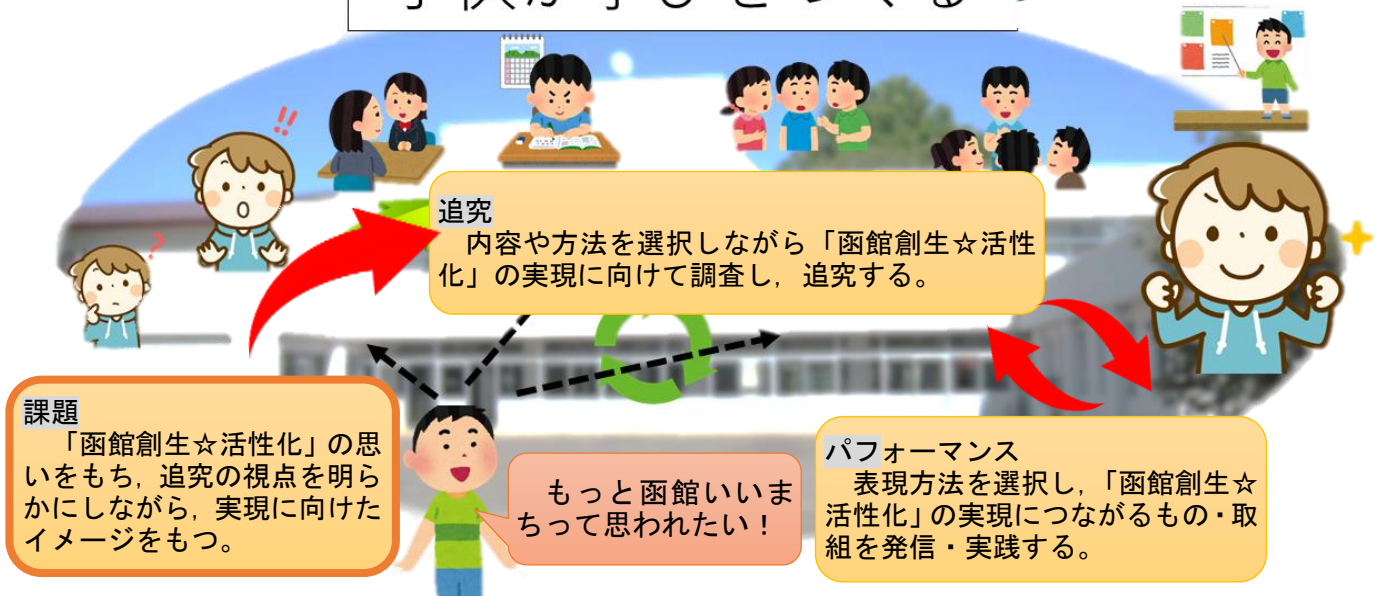
	課題設定	課題追究	パフォーマンス
桐の子タイムが 目指す 学びをつくる 子供の ゴールの姿	実社会や実生活に向き合い、理想状況の実現や課題解決をしようとする意識をもち、課題を設定する。 課題追究のイメージをもつ。	課題を解決する際に、追究内容、追究方法、追究形態を選択し、自力追究する。 追究中に自己を見つめ、追究の方法や視点を変えたり、焦点化したりする。	追究したことをもとに、自己の概念を形成し、日常生活の場面や次の学びへ生かす。 相手や目的に合わせて、既習の表現方法から選択して伝わりやすく構成して表現する。
桐の子タイムが 目指す R3. 8月時点の 6年生の 学びをつくる姿	実社会や実生活の問題状況や理想状況を自ら整理し、追究の視点を明らかにして課題や追究方法を設定する。	目的に応じて、自ら追究方法や形態を選択したり、視点を明確に定めて分析したりし、必要なときには活動を修正する。	追究の視点に基づいた全体としての概念構造や自らの概念の形成・更新・変容を捉える。 相手や目的に合わせて、既習の表現方法から選択して伝わりやすく構成して表現する。

本単元の
目的

「地域創生や地域活性化」に生かす力の育成

本單元における「一人一人の子供が他者ととも自己調整する学び」

子供が学びをつくる



自己調整

- ◇ 関わる人々の思いや取組から「函館創生☆活性化」の視点をつくり出し、共有する。
- ◇ 追究やパフォーマンスの過程で、「函館創生☆活性化」の視点を踏まえているか、そのことにつながるか検討し、方略を決定する。
- ◇ 自分の函館への思いや取組の変化を自覚して、次へ生かそうとする。

函館への
思い

こんなまちだって思われたい！
こんな函館になってほしい！

実現に
向けて

こういう方法や取組がいいな！
もっとこうした方がいいかな？

自分自身の
気づき

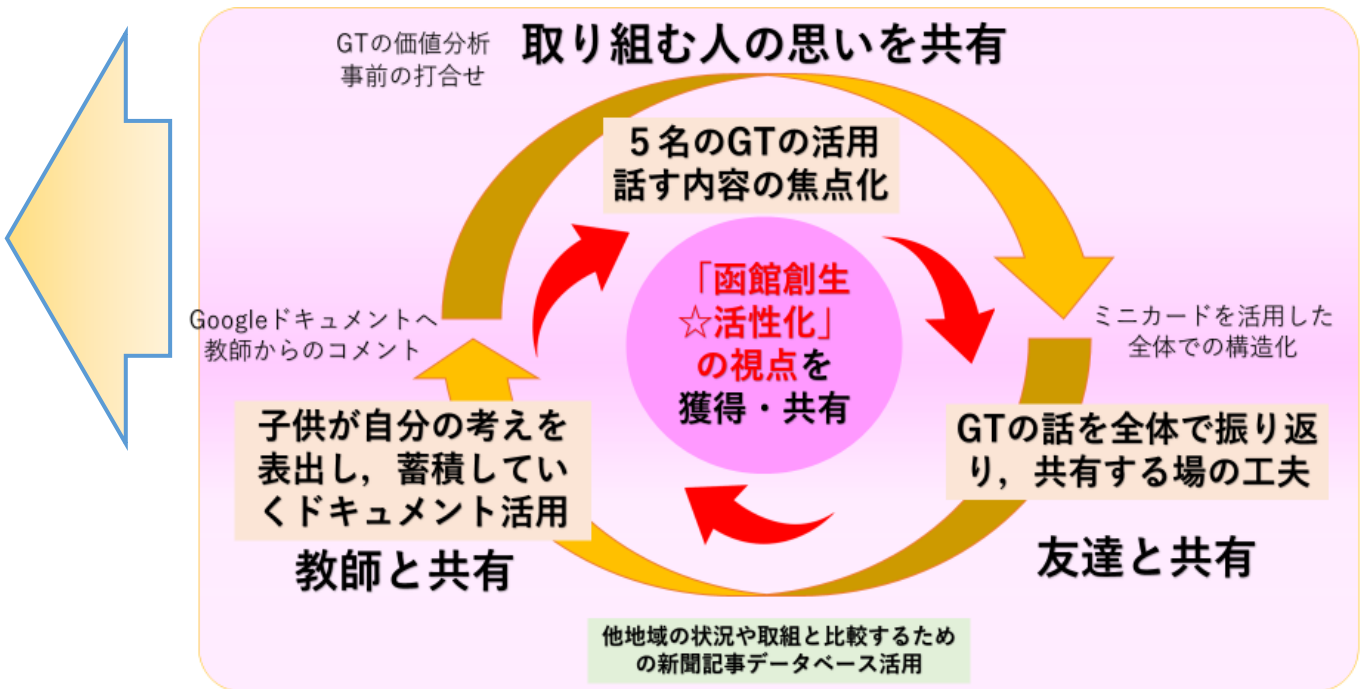
函館についての考えが変わってきた！
だいたいわかってきたけど、
もう少し考える必要があるな…

- 3 本単元の目標 子供が「函館創生☆活性化」の意味(構成する視点)を理解(まず市民が①誇りをもつ, ②にぎやかで盛り上がる, ③仲良くつながること)し, “それが何であるのか”, そして“実現のためにできることは何か”を考え, 表現することができるようにする。

単元の評価規準	知識・技能【知技】	思考・判断・表現【思判表】	主体的に学習に取り組む態度【主】
	「函館創生☆活性化」に取り組んでいる人々の思いや取組を分析したり, 実際に取り組んだりすることを通して, 「函館創生☆活性化」の意味や必要なことを理解する。	「函館創生☆活性化」の視点を持ち, 情報を整理・分析したり, 自分の考えを見つめ直したりしながら, 実現につながるものやできることを考える。	「函館創生☆活性化」の視点に基づいて, 「函館創生☆活性化」の実現につながるものやできることを考えて, 取り組んだり, 今後に生かしていこうとしたりする。
	課題 「函館創生☆活性化」に取り組んでいる人々の思いや取組を分析し, 「函館創生☆活性化」の意味(構成する視点)を理解する。	課題 自分の考える「函館創生☆活性化」について, 情報を整理・分析したり, 自分の考えを見つめ直したりしながらイメージをもつことができる。	課題 「函館創生☆活性化」に取り組んでいる人々の思いや取組を分析したり, 自分のイメージをもって「函館創生☆活性化」に取り組もうとしている。
	追究 実現につながるものやできることを考え, 追究していくことを通して, 「函館創生☆活性化」に向けて魅力を知ることの重要性を理解する。	追究 情報を整理・分析したり, 自分の考えや追究方法を見つめ直したりしながら, 実現につながるものやできることを考えることができる。	追究 「函館創生☆活性化」の視点に基づいて, 実現につながるものやできることを考え続けている。
	パフ 実現につながるものやできることを考え, 表現していくことを通して, 「函館創生☆活性化」に向けて, 魅力を発信していく重要性を理解する。	パフ 自分の取組を見つめ直しながら, 実現につながるものやできることを表現することができる。	パフ 「函館創生☆活性化」の視点に基づいて, 実現につながるものやできることに取り組んだり, 今後に生かしたりしていこうとしている。

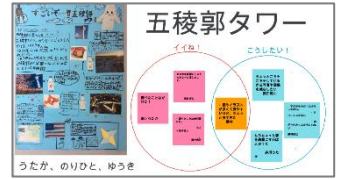


*** 本単元の課題設定場面における「子供が目指す姿」の共有デザイン**



4 単元計画

時	学習活動 (○) 【自己調整】
※	○ 4年桐の子タイム「函館☆PR 隊」で観光客向けのポスターを作成し、空港に展示を依頼。 (コロナ禍のため展示できず)
※	○ 5年桐の子タイム「Hakodate 街調査隊」で函館の街のよさを追究し、4年生に向けて発表。
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">函館の夜景がきれい！観光客にも大人気！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">イカが有名だし、たくさんの人に食べてほしいな！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">歴史的建造物がたくさんあるね！歴史や文化も函館の魅力</div> </div>
課題	○ 4年生の時のポスターを見返し、どんな気持ちで取り組んでいたのか振り返る。
1	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どれも素敵なおポスター直したい所もあった。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">多くの観光客に伝わったり増えたりするとういよね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">函館っていい所がいっぱいあるんだよね。</div> </div>
2	自分が今函館について思うことや考えていることは？
3	○ 函館についての思いを交流し、今後の学習を考える。
4	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">イイ所もあるけど、課題も…!?</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">人口減少、幸福度低、キーワードよくない…。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">許せない。詳しい人たちに聞きたい！</div> </div>
	【自己調整】 函館のよさや魅力だけでなく、現状や課題にも目を向け、思いをもって学びに向かおうとしている。
5	まちづくりセンターの榎本さんに話を聞こう！
6	○ 人口減少や幸福度の低さ、あまりよくないキーワードの理由や解決方法を聞いて、振り返る。
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">函館の残るための理由が必要なんだね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">イイ所をまずは見付けて広げていくことが大切なんだ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地域創生って言葉もあるんだ。地域のことを考えて活動している人を紹介してくれた！</div> </div>
	地域のことを考えて活動している人に話を聞こう！
	○ 紹介してもらった4名のGTから話を聞き、全体で振り返る。
7	★縄文 Dohnan プロジェクトの山田さん
8	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">縄文の文化や心をまちづくりに生かしている！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見付けたことを発信して広めていくのが大切！</div> </div>
9	★シエスタハコダテの岡本さん
10	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">函館の人々を元気にする企画を考えている！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">人とつながっていくことが大切！</div> </div>
11	★箱バル不動産の蒲生さん
12	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地域の文化をつくっていく！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まちをつくる当事者意識が大切！</div> </div>
13	★函館海の教室実行委員の國分さん
14	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">変化に適応した文化づくり！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">函館を知り、戻りたくなるような函館にすることが大切！</div> </div>
	共通点もたくさんあるよ。やっぱり地域の創生や活性化が大切なんだね。



課題 作成したポスターを振り返り、表出した思いを効率的に分類したり、共有したりすることができるよう、ICT(Jam board)を活用する。
難れた場所でも、同時間帯でなくても表出したり、共有したりすることができるよう、Jam boardを使用する。

課題 函館の現状の理由や自分の疑問に対する解決策や新たな考えを得ることができるよう、GT と関わる場を設定する。

これまでの学びで、函館市まちづくりセンターとの関わりがあるため、子供の言葉を拾いながら、関わる場を設定できるようにする。他のもたくさんの方からお話を聞いていく活動を設定できるよう、まちづくりセンター職員に、他の方々を紹介してもらう。

課題 GT の話を振り返り、全体で構造化することができるよう、ミニカードを活用して話し合うようにする。

GT の話を振り返りながら、「函館創生☆活性化」につながる視点を見いだしたり共有したりすることができるよう、ミニカードを活用し可視化する。また、そのGTの思いを捉えることができるよう、子供と一緒にミニカードを分類・整理していく。



課題 表出した自分の考えを蓄積し、変容をその都度振り返ったり、枠の変更や教師からのコメント挿入を適宜行ったりすることができるよう、ICTを活用する。

自分の学びや考えを振り返る際に、学習に合わせて必要な事柄や枠組みを追加・修正することができるよう、Google ドキュメントを活用する。子供の個人シートに教師がコメントをする。

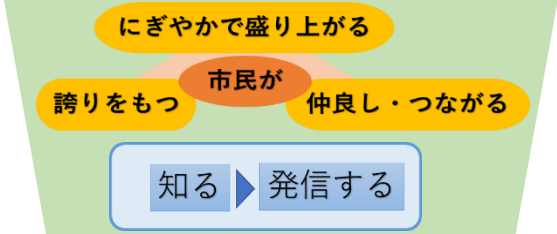
氏名	山田さん	岡本さん	蒲生さん	國分さん
関心領域	縄文文化	シエスタ	箱バル	函館海
学びの成果	文化や心をまちづくりに生かしている	人々を元気にする企画	地域の文化をつくる	変化に適応した文化づくり
課題	見付けたことを発信して広めていく	人とつながっていく	まちをつくる当事者意識	函館を知り、戻りたくなる
コメント				

時 学習活動 (○) **〔自己調整〕**

15
16
〔本時〕

函館創生☆活性化ってどんなことなの？

○ 函館創生☆活性化は、市民がどのようになることなのか考え交流し、視点を共有する。



〔自己調整〕「函館創生☆活性化」の視点をつくったり共有したりし、追究活動に生かす。

自分たちでも「函館創生☆活性化」！！

追
究

「函館創生☆活性化」に向けて、知りたい・知らせたいことは何かな？

17
18

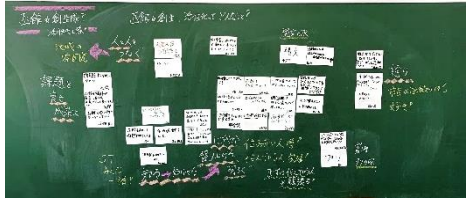
縄文の文化を市民にもっと知ってほしい！誇りに思ってくれる人が増えてほしい。

今は漁獲量も増えているし、ブリがいい！食は身近だし人気になるし、にぎわう！

観光客にも大人気な夜景だけじゃなく景色を伝えて、きれいな函館のイメージをもっとしてほしい。

他の地域でもあったスイーツがいい！函館には有名でおいしいお店がいっぱい。

課題 追究活動に向かう際に「函館創生☆活性化」の視点を意識して活動を行ったり、修正したりすることができるように、視点を全体でつくりだし、共有していく学習活動を設定する。
これまでの学びと同様に、ミニカードを使用して、一人一人の考えを可視化し、分類・整理していくことで構造化を図る。



追究 他地域の取組や状況と比較したり、ヒントにしたりすることができるように、新聞記事データベースを活用して子供の追究活動を支援する。
子供が分類したり検索したりすることができるように、Google スプレッドシートに新聞記事を貼っておく。



でもまだ知らないことも…「函館創生☆活性化」のために、函館をもっと知って、知らせることが大切！

実現につながるものやできることを考えよう！

19
20
21

○ 修学旅行で訪れる盛岡市の情報や取組と比較したり、再度 GT にお話を聞いたり、アンケートを実施したり、必要に応じて交流しながらプランを決定する。

縄文のことを伝えるパンフレットをどんどん配付しよう。

ブリの商品開発のお手伝いをします！！國分さんにも伝えたい！

盛岡の小学生のように函館のいいところを集めたスライドや動画を作って、市民に見てほしい！

Zoom でつないで、函館のよさを交流したり紹介したりするイベントをしてみよう？

追究 「函館創生☆活性化」の3つの視点を意識して追究することができるように、必要に応じて確認したり問いかけたりする。
ワークシートに記入する項目を作ったり、理由を聞いたりしながら、明確な視点をもって追究したり、考えたりすることができるようにする。

パフ 「函館創生☆活性化」の3つの視点の視点を意識したり相手意識を明確にして取り組むことができるよう、必要に応じて全体で確認する場を設定したり教師が問いかけたりする。

〔自己調整〕共有した「函館創生☆活性化」の視点を基に、方略を見直したり、再検討したりしている。

パ
フ

「函館創生☆活性化」につながる取組を実行していこう！

24

○ それぞれが考えるプランを実行する。

25

本当に「函館創生☆活性化」につながるといいな。これからも函館がいいまちって思われたい！

26

27



28

5 本時案② (18/28)

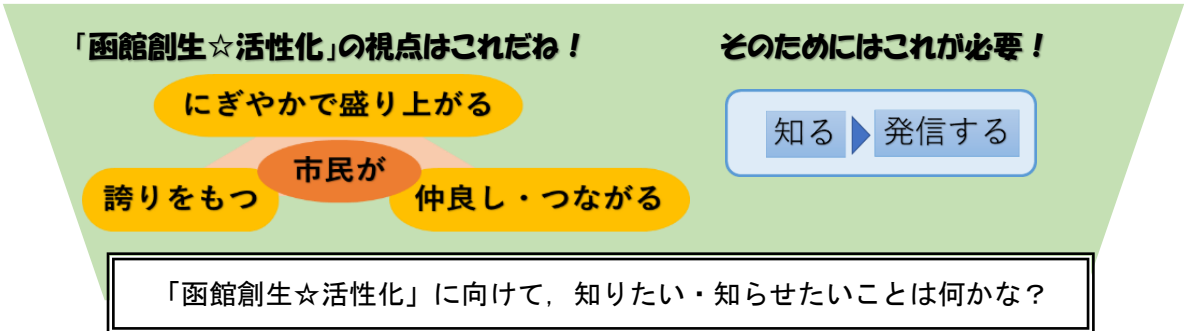
本時の目標

「函館創生☆活性化」の視点に基づいて、実現につながるものやできることを考えることができるようにする。

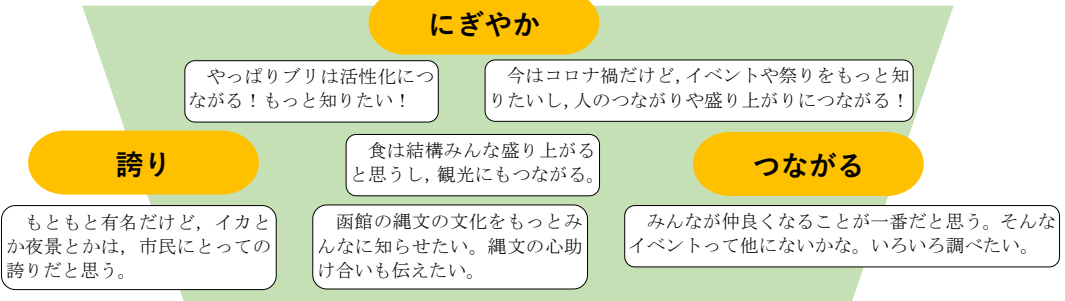
学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援(課題, 追究, パフ) と評価◇ 【自己調整】
----------------	--------------------------------------

自分たちでも「函館創生☆活性化」！！

- これまでの学びを振り返って、「函館創生☆活性化」の視点を確認し、本時の課題を設定する。
- 課題 「函館創生☆活性化」の視点を意識できるよう、子供の子供を拾いながら確認したり、課題を設定したりする。
- ★縄文 Dohnan プロジェクトの山田さん ★シエスタハコダテの岡本さん
 ★箱バル不動産の蒲生さん ★函館海の教室実行委員の園分さん



- 「函館創生☆活性化」に向けて、自分が知りたいこと・知らせたいことを考える。
- 追究 知りたいこと・知らせたいことを考えることができるよう、視点を確認したり、一緒に考えたりする。
- ミニカードに記入し、黒板上で分類整理したり、考えや理由を交流したりする。
- 追究 一人一人の考えを表出し、共有することができるよう、ミニカードを活用したり、教師が問いかけたりしていく。



まだまだ知らないことがあるよ…。もっと調べたいな。 ◇ 「函館創生☆活性化」の視点に基づいて、実現につながるものやできることを考え続けようとしている。【主】

【自己調整】 「函館創生☆活性化」の視点を基に、自分が知る・市民に知らせることに対する思いや内容、今後の見通しを考えようとし、自分の気付きの変容を捉えている。(行動・発言・シート)

- 本時の学習を振り返りながら、自分が知りたいこと・知らせたいことや函館について思うことを振り返りシートに記入する。
- 追究 交流を通して、「函館創生☆活性化」に向けて思ったことや考えたことを表出できるよう、振り返りの場を設ける。

函館のことがもっとわかってきた。いろいろと知ると自分も函館のことが好きになる。	函館にはまだ知られていない魅力もあると思うから、そういうのを見付けたい。	他の地域にはなくて、函館にはあるというのが誇りや盛り上がりにつながると思う。	変化に適応することがやっぱり大切だから、ブリのPRは大切だと思う。	市民にとっても、観光客にとっても、函館がもっといいまちになってほしい。
---	--------------------------------------	--	-----------------------------------	-------------------------------------

夏休みにも、いろいろ調べたり考えたりしてみよう！